

産業建設常任委員会会議録

平成30年9月14日

宮古市議会

平成30年9月宮古市議会 産業建設常任委員会会議録目次

(9月14日)

議事日程	1
出席委員	2
欠席委員	2
説明のための出席者	2
議会事務局出席者	2
開 会	3
付託事件審査(1)	3

宮古市議会産業建設常任委員会会議録

日 時 平成30年9月14日（金曜日） 午前10時45分
場 所 議事堂 第一委員会室

○

事 件

[付託事件審査]

- (1) 議案第9号 荒巻笹見内地区道路整備（その1）工事の請負契約の締結に関し議決を求めることについて

出席委員（7名）

佐々木重勝	委員長	藤原光昭	副委員長
小島直也	委員	佐々木清明	委員
伊藤清	委員	高橋秀正	委員
落合久三	委員		

欠席委員（なし）

説明のための出席者

付託事件審査（1）

参 与 兼 都 市 整 備 部 長	小 前 繁 君	建 設 課 長	中 屋 保 君
建 設 課 長 工 務 係	盛 合 弘 昭 君		

議会事務局出席者

事 務 局 長	菊 地 俊 二	主 査	小 野 寺 泉
---------	---------	-----	---------

開 会

午前10時45分 開会

○委員長（佐々木重勝君） ただ今までの出席は7名であります。定足数に達しておりますので、これから産業建設常任委員会を開会します。本日の案件は、付託事件審査1件となりますので、議事進行にご協力をよろしくお願ひします。

○

付託事件審査（1） 議案第9号 荒巻笹見内地区道路整備（その1）工事の請負契約の締結に関し議決を求めることについて

○委員長（佐々木重勝君） それでは、本委員会に付託された議案の審査を行います。なお、議案の提案理由につきましては、本会議で説明済みでありますので、省略します。

議案第9号「荒巻笹見内地区道路整備（その1）工事の請負契約の締結に関し議決を求めることについて」を議題とします。質疑のある方は、挙手願ひします。どなたかございませんか。佐々木委員。

○8番（佐々木清明君） 先ほど議場で、部長のほうから3社応札ということで82.56%ということでございましたけども、もし差し支えなければ、3社の名前を教えていただければいいなど。

○委員長（佐々木重勝君） 中屋建設課長。

○建設課長（中屋保君） 落札者のほかの2名でございますけども、株式会社小山田組と長沢産業株式会社でございます。

○委員長（佐々木重勝君） 佐々木委員。

○8番（佐々木清明君） はい。わかりました。

それでは、9の4のとこですけども、今回、420mの道路を整備するわけですけどもこの計画平面図と書いてあるところの側のほうが、海になってると思うんですけども前回のチリ地震でなくて、東日本大震災のときには、この沢にかなりの水が入ってきてまして、この辺の人たちが逃げるのに右往左往して高いところに逃げたんですけども、今回ここを高くしてしまうと、今度、荒巻の低いところの民家が密集してるほうに水が行くんでないかなと懸念されてますけども、その辺はどのように考えてますか。

○委員長（佐々木重勝君） 盛合工務係長。

○工務係長（盛合弘昭君） 道路計画の具体的なところですので、私のほうからお答えさせていただきます。道路の縦断の高さは浸水区域の部分は14.1m、明治三陸津波の高さを想定した縦断計画を持ってございます。一部住民からの要請もありまして一部縦断を見直しているところもありますけども、基本的にはこの高さでもって、荒巻地区のほうから一旦下ってまた笹見内地区の方のトンネルの方につながるよう施工したいと考えております。

○委員長（佐々木重勝君） 佐々木委員。

○8番（佐々木清明君） 今も盛合係長さんの方から説明あつただけでも、この計画平面図の左側のほうが何と云うか岩場にもなってるし、ただこの14.1mでも、多分、民家のほうには入ってくるのではないかなという懸念があるんですよ。その辺をもう少し詳しく。

○委員長（佐々木重勝君） 盛合工務係長。

○工務係長（盛合弘昭君） 少し説明が不足しておりました。荒巻地区から水路、河川が流れ込んでおります。水路を逆流することも想定しておまして、フラップゲートをつける計画としております。フラップゲートと

いうのは上流から流れていけば開いて、反対から押されると閉まるという構造体のものがございます。

○委員長（佐々木重勝君） 佐々木委員。

○8番（佐々木清明君） はい、わかりました。以上です。

○委員長（佐々木重勝君） ほかにどなたかございませんか。落合委員。

○16番（落合久三君） 9の4の計画平面図の色別の意味をちょっといつも分かったふりして聞かないんですが、それをお願いします。

○委員長（佐々木重勝君） 小前参与兼都市整備部長。

○参与兼都市整備部長（小前繁君） この色使いは定例となっております。右側に黒いところがあると思うんです。至る音部とか書いてあるようなところ。これは出来上がったところ。それから、オレンジ色っていうか、今説明したところについては今回の案件です。それから左側にグリーンのところがあると思うんです。グリーンのところは、これからやる場所です。現在、未来と、こういう色分けでございまして。

○委員長（佐々木重勝君） 落合委員。

○16番（落合久三君） そうしますと、今回は道路整備その1はオレンジ、もしかすればその2は、グリーンのところを考えているっていうふうに、素直にそれでいいですか。もう一つ。今のあれが佐々木委員も触れたんですが、この14.1mの高さに盛り土をして、同じような高潮、大きい波が来ても冠水しないように。それから、確かに沢が流れているのは私も分かるんですが、そこについてはフラットをちゃんと付けて侵入しないようにすると。かなりの盛り土ですよ。ざっと見て。そして、この外側、ここに簡単にこう書いてあるんですが、海寄りには基本的にはどういうふうな工事になるんですか。法面っていいですか。その波が押し寄せてくる方。

○委員長（佐々木重勝君） 盛合工務係長。

○工務係長（盛合弘昭君） 基本的には植生になります。

○委員長（佐々木重勝君） 落合委員。

○16番（落合久三君） それで大丈夫なんでしょうか。何となく波に洗われると、そうは言っても崩れ出すんじゃないかというふうにちょっと素人目で思うんですが、そこは大丈夫と。

○委員長（佐々木重勝君） 盛合工務係長。

○工務係長（盛合弘昭君） 通常の道路ですと、法面の表面を草で覆わせて雨水等に対抗するわけなんですけども、同じ手法でここも取り組んでいこうと思っております。ただし懸念されるのは確かに普通の土ですと、波が寄せれば引き波でもっていかれるとかってということが考えられます。で、ここは岩砕、トンネルの岩砕とかですね、どうしても岩場だということで岩ズリを有効に活用して、通常の市内の山手のような、真砂土ではない土ですので、その辺で少しは対抗できるのかなというところを期待しております。

○委員長（佐々木重勝君） その他。藤原委員。

○19番（藤原光昭君） ちょっとわからないんで聞きますが、さっき計画平面図の色分けのところの説明を受けたんで、その前の9の3のところで、この黒の点線はトンネルで、これはもう完了した部分ですよ。今回がこの赤の部分で、地図を見ると終わりのように思うんですが、この今後の計画というのはこれどこを指してるんですか。それとも何も色塗りしてない部分は、これをこれからも改良していくというふうに見ればいいんですか。ちょっと、全く私わからないんで聞くんですけど。場所もわからないし。

○委員長（佐々木重勝君） 中屋建設課長。

○建設課長（中屋保君） 9の3の図面でございますけども、これは、これから改良する部分ということで、この

9の4ページの緑の部分も含めた形での表記になっておりまして、9の3と9の4が必ずしも一致していないような状態になっていますけども9の3の方はこの緑の部分も含めての表記になっているということでございます。

○委員長（佐々木重勝君） 藤原委員。

○19番（藤原光昭君） そうすれば、この赤の部分に含まれてると。緑の部分もね。そうすれば、今、聞いたんですが、これから向こう先に荒巻に向かってはこれからも整備をしていく道路なんですか。併せて、今このトンネルから赤い部分は、道路がなかった部分を開設して行ったところなんですか。

○委員長（佐々木重勝君） 中屋建設課長。

○建設課長（中屋保君） 道路がなかったというところではなくてですね、現道はございます。現道部分の改良をしていくというのが、この工事の内容でございます。新設ではなくてですね、現道改良ということでございます。

○委員長（佐々木重勝君） 小前参与兼都市整備部長。

○参与兼都市整備部長（小前繁君） 3ページの赤い部分と黒の点々の部分の説明を藤原委員求められているんだろうと思います。今、それは計画がございません。

○委員長（佐々木重勝君） 藤原委員。

○19番（藤原光昭君） そうすれば赤い部分でとりあえずっていうのか、これで完了と。

○委員長（佐々木重勝君） 小前参与兼都市整備部長。

○参与兼都市整備部長（小前繁君） さようでございます。

○委員長（佐々木重勝君） 中屋建設課長。

○建設課長（中屋保君） 申し訳ございませんでした。9の3の赤の部分と、9の4の赤の部分は一致してございます。それで、緑の部分が9の3の地図には表記されていないということでございます。大変申しわけございませんでした。

○委員長（佐々木重勝君） その他ありませんか。高橋委員。

○12番（高橋秀正君） 佐々木委員から始まって、みんなのことでもう1回確認をするんですが、家がここにはねえよな。この赤のラインには、9の4のどこには住宅はねえどこだよな。さっきから住宅があるどこはどのようのってそれに答えてつとも、月山から下りてくる道路が真ん中にかかんでばわがつとも、それはもうずっと測点から言えば1とか2のほうなんだべ。これは測点が7だが。まずそこをお聞きします。図面をちゃんと説明してください。それから、切り土盛り土はどこ切って標準断面になんだ。大体見ればわがつとも。津波が来ようがこまいが家がねえどごが、家に違いがあるのってねえんだ。

○委員長（佐々木重勝君） 盛合工務係長。

○工務係長（盛合弘昭君） まず、わかりづらい資料になってしまったことをお詫びいたします。

9の3の位置図の方を見ていただきたいと思います。事業区間の工事の全体を示したいがゆえに赤字で表示してありますが、荒巻のここに家の跡が何点かあって川が交わるところがあるかと思うんですが、そこまでが北側の事業の区間、終点になります。荒巻地区のちょうど出口といいますか海側に近いところですよ。そして今回、9の4で表示してありますのは、9の3で表示した赤い線のところとリンクしてございます。見方が、位置図は縦に見ますので、9の3は縦に見ますけども、9の4は、これを9の4と書いてある方を左手に見るような感じになります。そうしますと、計画平面図の上段、上の方が海となりまして、下の方が山となります。今回の施

工区間は部長の方が説明今した黒で着色しているトンネルの坑口の終わったところから、左手まで 410mの区間を想定しています。その中で切土区間はどの断面なのやっていうことがありましたけども、右手から来てですね、ちょっと字が小さくて測点ではちょっと申し上げづらいんですが、この山が上のほうにカーブがしてあるところがあるかと思えますけども、ここが切土横断面となりまして、ちょうど掘り割りになります。右手からきて上にカーブしてる、ここのちょうど真ん中の部分が切土の横断の標準ということで表示させていただいてます。そして左にいきますと、これがちょうど真ん中で、タコの足のようにぐにゅつとなっているような部分が真ん中に出てくるわけなんですけども、ここから左手の緑色までの区間が盛り土になります。そして、そのちょうど中間部の断面が左下に表示してます盛土横断面図というふうな標準的なところを示させていただいております。

○委員長（佐々木重勝君） 高橋委員。

○1 2 番（高橋秀正君） それで一番最初、部長の方からは、色の説明があったんですが、間違いだっていうような意見もその後訂正がありましたけども、これ、ナンバー7だから、もっとこのさっき盛合工務係長の説明であれば、川のどごまであと 170m、140m延びていぐつつうことだな。ここは、来年度以降だかわがんねえけど、引き続きやるつつうごどなんだべ。それで、420mなんだども、これ、なんぼ縮まんのや。

○委員長（佐々木重勝君） 盛合工務係長。

○工務係長（盛合弘昭君） すいません。正確な数字をちょっと把握してございません。ざっと見た感じ、50 から 60mかなというふうに想像いたします。

○委員長（佐々木重勝君） 高橋委員。

○1 2 番（高橋秀正君） それで、津波が来てもトンネルがあって、こっちは行けるような状態になるわけなんですけども、さっきの最初の説明では家も流れとか何とかつつうようなこともあったたども、現道でも何ら支障がねんでねえの。何でここを改良しねえばなんねえづう意味をはっきり教えてください。

○委員長（佐々木重勝君） 盛合工務係長。

○工務係長（盛合弘昭君） こちらは、平成 25 年度に予備設計ということでルート決定を図った経緯がございます。その際の目標は、この平面図で表示してます現道、色が塗ってない白抜きのところと色が塗ってるところと交わってますけども、現道のカーブが左手の荒巻地区の緑のところから一つ。そして、盛土と切土とちょうど切り替わるようなところの一つ。そして、右の方に寄りまして、白抜きの現道のカーブということで、この三つのカーブが蛇行するところを緩和させたいという線形上のコントロール設計思想が一点ございました。二点目は、ここは東日本大震災の際に津波でやはり浸水を受けた地域であるということで、現道のままでは同じように道路等も破損したり、あるいは通行の安全も確保できない恐れがあるということである程度の高さをとって、通行させるほうが安全な道路になるだろうという思想から高さを決めました。その高さは、宮古湾内とか、他で提示されてるように県の出された数値をもとに、14.1mを目標とするものとして設計した経緯がございます。以上でございます。

○委員長（佐々木重勝君） 高橋委員。

○1 2 番（高橋秀正君） カーブの解消、それは分かる。解消はわがっとも、1日 20 台通るんだか、30 台通るのかわがんねえづうようなどごなんだよな。場所は。それから、もう一つ。どうせ改良すんであれば、14.1 で平らにしなくても、この切土部分上げててもいいんでねえの。そうすれば、切土の量が少なくなって、経費も安くなっぺえ。ここ何ぼインターあんだかわがんねえども、100m以上あんだが。

○委員長（佐々木重勝君） 盛合工務係長。

○工務係長（盛合弘昭君） 縦断計画の点をちょっと説明させていただきます。

14.1の高さに上げるというところで、ある程度の一番低いところとか、あとはここで表記されてませんが、でも荒巻地区の集落の高さとかいろいろコントロールするところがございました。その中で、どうしても縦断勾配の規格値がございました。これは10%というふうになりますけども、その規格値を組み合わせていくとどうしても既存のこの山の位置がですね、高いことからその10%に持ってくと、この切土を上の方まで持ってくるのがなかなか困難だということで、こういった掘り割りの計画になってございます。それで、事業費の削減等もちょっと考えてるところもございまして、その辺をちょっと紹介させていただきますと、やはりここは、残土量が比較的多いということで盛り土にうまく使うことでコストを下げることができるんですが、さらに最終的な残土の置き場所を笹見内地区のほうに求めております。現在、白浜の方、浦の沢線というトンネルの海側の道路はちょっと通れませんので、白浜の方を通ろうとすると残土の運搬コストがかかるということから、笹見内地区の皆様にご協力いただいて、笹見内地区の方に仮置きをさせていただいております。そして、トンネルが通った際に、我々が整備したトンネルをうまく使ってですね、短い距離で運搬するようなちょっとコスト削減策もちょっと考えながら、今のところ事業を展開しているところでございます。

○委員長（佐々木重勝君） 高橋委員。

○12番（高橋秀正君） 今の説明聞いてみんなどう思ったんだかわかんねえけども、矛盾してるところがあって俺は聞いてんだけども、縦断図ちょっと出してちょうだいよ。

○委員長（佐々木重勝君） それでは図面の提出というあれがありましたんで、提出をお願いしますか、皆さん。お願いしますね。一応、委員会としての総意で提出してもらいたいと思いますので。資料が揃うまで暫時休憩します。

午前11時11分 休憩

午前11時15分 再開

○委員長（佐々木重勝君） 休憩前に引き続き、会議を開きます。

盛合工務係長。

○工務係長（盛合弘昭君） 先ほどの高橋委員の質問にお答えしました縦断10%というのは、すいません、訂正でございます。私の誤りでございました。図面表示のとおり、それぞれ左手が笹見内地区のほうから、右手が音部地区、音部漁港に抜けるトンネル右手がちょうど山になってるところがトンネルになります。今回、切土として行くところがこのトンネルの左手に三角になってる山の部分、ここが切土となります。そして、左手にギザギザとなってところが、なだらかにカーブになっているところが盛土となります。縦断の10%というのが基準の上限であることは確かなんですが、ここに採用してたかっていうのはちょっと私の認識でした。認識不足でございました。訂正させていただきたいと思います。上りが3.6%、トンネルの切土のところから下りが4%というふうになってございます。失礼いたしました。

○委員長（佐々木重勝君） 高橋委員、よろしいですか。

○12番（高橋秀正君） いや、この4%、まあさっきの続きで言えば、この4%でいけば、もっと勾配上げても盛土の土は左さ持ってくるにいいわけだ。左も上げんにいいわけだ。家がねえがら。ずっと。

○委員長（佐々木重勝君） 盛合工務係長。

○工務係長（盛合弘昭君） 縦断図の見直しというところもございましてけども、このなだらかな勾配での設計でち

よっと今のところは進めたいというふうに考えております。

○委員長（佐々木重勝君） 高橋委員。

○12番（高橋秀正君） 進めたいかどうかだがわがねえけども。1億8000万だったか。1億8000万で400m。四四十六、43万だが。メーター。とんでもねえ額だぞ。この数量から見ても、2万立米も4万立米も土動かさねえばなんねえたら。この勾配、しゃべれば、10%まで上げだってなんら支障がねえべ。この距離がなんぼだがわがねえども28から一番高いところはなんぼだ。よぐわがねえ。21。140mあんだが。そうすれば、掘削土の運搬、岩ズリだか何だかわがねえけど、そんなのも、仮置きもどうのこうのって言ってつとも、なんら支障がねえ。車が30台も通んねえべ。1日に。こんなのさ43万もかけたって話になんねえべ。他のどごさ銭かけたほうがいいべ。ということ。

○委員長（佐々木重勝君） 小島委員。

○5番（小島直也君） 高橋委員がおっしゃる、その1日に30台っていう台数を推測しているのは、この奥の部落の方々が、音部漁港に来るのを想定してだけの話ですか。観光客とか、一般市民の通行とかはあまり考えられない道路ってということで。実際は、当局はどのように交通量見ているのか教えてください。

○委員長（佐々木重勝君） 盛合工務係長。

○工務係長（盛合弘昭君） 現在の設計の交通量は50台と見ております。

○委員長（佐々木重勝君） そのほかありますか。盛合工務係長。

○工務係長（盛合弘昭君） 高橋委員の御指摘の縦断の見直しの件なんですけど、この設計は現道の、現在の設計です。ね、現在設計は現道の道路の高さを同じような高さで通したいということで、このような3.6から4%というふうになっております。御指摘いただいた縦断の計画の見直しについては、この場でなかなか即答できませんので、一度検証させていただきたいなというふうに思います。

○委員長（佐々木重勝君） 高橋委員。

○12番（高橋秀正君） 了解。その時、現道の線も入れてちょうだい。ここがこんなに高いなんて俺思っただけでねえがら。

○委員長（佐々木重勝君） 盛合工務係長。

○工務係長（盛合弘昭君） 現道のほうの高さは表示した資料を作成したいと思います。縦断の見直すことについては、なかなか大きな事業変換になってしまうところもあります。なかなかちょっと即答が難しいところがございますので。

○委員長（佐々木重勝君） 小前参与兼都市整備部長。

○参与兼都市整備部長（小前繁君） 今、問題になってるのは、3.6か4%の勾配をもう少し強くすれば切土量も減って事業費を削減できるのではないかという御指摘を高橋委員からいただいております。そのことを再検討できるかどうかということでございます。この道路についてはですね、地元とは、住民説明会を開いて、こういった案について地元から早くやってくれというふうに言われてることもございます。トンネルは既に完成しておいて、あとここが残ってるということでございます。できれば、このままこの件については発注をお認めいただきたく思います。これからのことについては、やはりできるだけ工事費を減らすための、過大な設計にならないよう十分注意して参りたいと思います。よろしく申し上げます。

○委員長（佐々木重勝君） 高橋委員。

○12番（高橋秀正君） ところでこの事業費は、震災復興でやってんの。

- 委員長（佐々木重勝君） 中屋建設課長。
- 建設課長（中屋保君） この荒巻笹見内地区の道路整備は社総交の復興枠、社会資本整備総合交付金の復興枠で整備しております。
- 委員長（佐々木重勝君） 高橋委員。
- 12番（高橋秀正君） そうすれば、地元負担はなんぼなのや。
- 委員長（佐々木重勝君） 中屋建設課長。
- 建設課長（中屋保君） 社会資本整備総合交付金の国費率ですが、これ60%になります。その他の財源といたしましては、震災復興特別交付税が一般財源のうちの95%分、認められることになっております。一般財源の残りの5%分については、震災復興基金を充てる予定でございますので、市の単独の財源っていうのは、今のところないという状態でございます。
- 委員長（佐々木重勝君） 高橋委員。
- 12番（高橋秀正君） いや。ねえづんでねえ。基金取り崩してやんだべども。これの採決は最終日なんだども、最終日まで1カ月もあるわけだ。もう一度ちゃんと精査して説明していただきたい。いうことなんです、委員長その辺はがつつり取り計らってください。
- 委員長（佐々木重勝君） 高橋委員、今、事務局からあったんですが、最終日でなく20日。
- 委員長（佐々木重勝君） 高橋委員。
- 12番（高橋秀正君） いきなりここの掘削に入るんだかどうか分かんねえども、準備工的なものも含めれば1カ月、2カ月はそれは猶予があると思うんで、設計変更するためにもぜひ検討していただきたい。
- 委員長（佐々木重勝君） 小前参与兼都市整備部長。
- 参与兼都市整備部長（小前繁君） 将来の設計変更についても何が可能か検討して参りたいと思います。
- 委員長（佐々木重勝君） 高橋委員。
- 12番（高橋秀正君） 今の説明すれば、20日の日に仮にこれを認めても設計変更して減額することもできるでしょう。だから、その検討もちゃんとしてくださいよと。づうことで、しゃべれば、20日以降に委員会開いてもいいし、ちゃんと図面出して、もう一度どのぐらい銭が下がって、どのぐらい上げんにいいんだが。そうせば、白浜さ運搬すんだの、小角柄さ運搬すんのづうのはなぐなんだがら。
- 委員長（佐々木重勝君） それで、今の検討しますという参与の御答弁ですよ。
- 委員長（佐々木重勝君） 落合委員。
- 16番（落合久三君） 検討しますだから、仮に、高橋委員が提案しているように、勾配をもうちょっと緩やかにもうちょっと上げてやれば切土の量が減るから費用削減になるっていう、端的に言えばそういう強くすればね。緩やかにするは逆。間違った。仮にそうした場合には、音部寄りのトンネル、完成しているトンネルとの接合に技術的にはどう言ったらいいか。そこは不具合やなんかはあまり関係ないですか。
- 委員長（佐々木重勝君） 小前参与兼都市整備部長。
- 参与兼都市整備部長（小前繁君） ここの断面図、縦断面図がございますが、この中で今、3.6とか4%で切り上がってるのを途中からどっから緩和区間も要りますので、どっから上に上げていくのかということを検討することなんで、この事業区間内で検討させていただいて。だから、一旦、今回は、発注は契約はさせていただきますけれども、今、高橋委員おっしゃったように、こちらのほうで可能な線、できるだけコスト削減できる線を検討させていただいて、それで途中で設計変更に応じて契約変更させていただいて事業完成させていきたいと

いうふうに思っております。

○委員長（佐々木重勝君） そのほかございませんか。

伊藤委員、ありませんか。

高橋委員もよろしいですか。

いずれいろいろ御指摘いただいた分を、検討を進めながら、ということで小前参与よろしいですね。

○委員長（佐々木重勝君） 小前参与兼都市整備部長。

○参与兼都市整備部長（小前繁君） 至急検討に着手したいと思います。

○委員長（佐々木重勝君） それでは、よろしく願い申し上げます。

ほかに質疑ございませんか。なければこれで質疑を終了いたします。

○委員長（佐々木重勝君） これから、議案第9号に対する討論を行います。討論はございませんか。

〔何事か呼ぶ者あり〕

○委員長（佐々木重勝君） そうすれば、局長にお伺いしますが、ここは説明終了のみでよろしいということですか。

○事務局長（菊地俊二君） 審査なので、これを可決するのかということを委員会で決定していただきたいと。

○委員長（佐々木重勝君） では、賛否を取ると。

〔「可決すんのはしょうがねえべ。20日だから。」と呼ぶ者あり〕

○委員長（佐々木重勝君） ちょっとじゃあ暫時休憩して方向性を定めたいと思います。今、バラバラこう言うと後ほどの記録にも支障がありますので。暫時休憩します。

午前11時33分 休憩

午前11時36分 再開

○委員長（佐々木重勝君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

ただいま皆さんからいろいろご意見をいただいた中で、これからいろいろ更に検討を進めた中で何とかもっていきたいという小前参与からもご答弁をいただきました。そういった中で、この議案第9号につきまして、皆さんの採決をしたいと思いますが、皆さんよろしいですか。

〔「異議無し」と呼ぶ者あり〕

○委員長（佐々木重勝君） それでは、議案第9号「荒巻笹見内地区道路整備（その1）工事の請負契約の締結に関し議決を求めることについて」の賛成の方の挙手をお願いいたします。

○委員長（佐々木重勝君） ありがとうございます。全員、賛成であります。よって可決されました。

○委員長（佐々木重勝君） これから議案第9号に対する討論に入りたいと思いますが

〔「決めたんだもの」と呼ぶ者あり〕

○委員長（佐々木重勝君） 進行が大変不手際で申し訳ございません。

以上で、当委員会に付託された議案の審査は全て終了しました。

お諮りします。9月20日の本会議における委員長報告につきましては、委員長に一任願いたいと思いますが、ご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（佐々木重勝君） 異議なしと認めます。

以上で、付託事件審査を終わります。説明員の方は退席願います。

○委員長（佐々木重勝君） 以上で、産業建設常任委員会を閉会します。ご苦労様でした。

午前11時30分 閉会

○

宮古市議会産業建設常任委員会委員長 佐々木重勝